

伊野中学校

国際土佐っ子メッセージに参加して 「握手を通して」

片岡 綾香 (3年生)

私は、外国の人と話をする時に、必ず握手をするように心がけています。なぜなら、その方がすぐにうちとけられるだろうと思うからです。

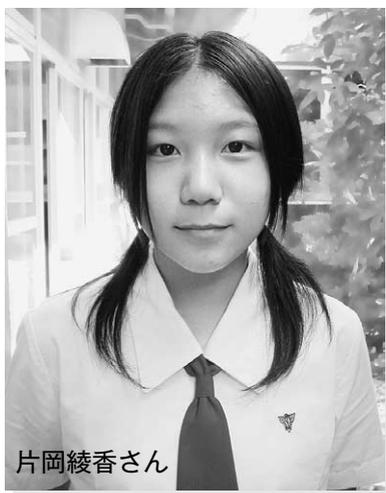
5年前初めて「国際協力」というものに関心を持ちました。関心を持つきっかけとなったのは、テレビ番組の「世界がもし百人の村だったら」です。私とそんなに年齢も変わらない人たちが毎日生きるために、必死で頑張っている。それを知った時の衝撃は今でも忘れる事はできません。

去年の夏、もっと世界の人たちに対しての知識を深めたいと思い、JICA主催の合宿セミナーに参加しました。合宿の主なテーマは『異文化に対する知識を深めよう』というものでした。合宿中は、JICAの派遣先で見てきたことを教えてくれたり、実際に外国から来ている人たちと話をしたり等、色々なことをしました。この合宿で出会った、タイ出身のブックとゴルフとは意気投合して、ずっと一緒に居ました。私は二人に「高知に来て苦労したことは？」と質問してみました。すると、「路面電車など公共の乗り物の乗り方が分からなかった。けれど親切に教えてくれる人が居たり、降りる所にローマ字で書かれているからそれに助けられました。」とっていました。こういうちょっとした事が「国際協力」につながるのだと、この時気づきました。

私の将来の夢は、世界の人のためになる仕事に就くことです。ハッキリとした職業は決まっていないけど、自分の最大の力を使って、世界に一つでも多くの笑顔を増やしたいのです。しかし、今の私には世界を変えられるような、大きな「国際協力」はできないかもしれません。けれど小さいことは、中学生の私にもできるだろうし、皆にもできると思います。例えば、使用済み切手でアジアに医療協力もできます。また世界の状況を知ること立派な国際協力だと私は思います。今私がやっている事は、外国人の人と話をすること、そして話をする時には必ず握手をすることです。

「握手」それは、相手を理解し認めることです。そしてそれは誰もができることだと思います。皆さんも、私と一緒に、小さな国際協力を、始めてみませんか？

「握手」それは簡単でそしてずっと続けられる国際協力への第一歩ではないでしょうか？



片岡綾香さん



国土交通省四国地方整備局からのお知らせ

今後の吉野川の川づくりについて皆様からご意見をお聴きするための会を開催します。

吉野川流域住民の意見を聴く会

日時：12月9日(日)
13:00~17:00 (受付12:00~)
場所：本山町プラチナセンター
2F ふれあいホール
〔長岡郡本山町本山569-1〕

猫の飼い主の 皆様へお願い

最近、猫が庭や家の中に侵入し、泣いたり排泄物で家屋が汚されたり等の苦情が寄せられています。

猫を飼育されている方は周辺住民の方に迷惑や危害を加えないように責任をもって飼育してください。

また、野良猫にエサを与えている方がおられますが、決まった飼い主がいらない野良猫はごみ置き場を荒らしたり、人の家の中に侵入しエサをとったりいろいろな迷惑をかけます。

また、エサを求めて他の野良猫が集まり子猫を産むなどますます野良猫が増えるということになります。

エサを与えるなら責任をもって飼育をお願いします。 環境課